

地域保健学・公衆衛生学

講師	横尾 美智代	実施時期 単位数	第1学年後期 1単位 (15時間)	実務経験	—
一般目標 (GIO)	地域で暮らす人々の健康的な生活とは何が大切かを理解し集団防御を考える力を養うための基本的知識を習得する。ライフステージごとの集団の特徴と健康問題を理解する。				
授業概要	(1)地域で暮らす人々の健康を守る重要性を説明できる。 (2)ライフステージに応じた健康上の問題とその支援について説明できる。 (3)国際社会での健康を守る仕組みや活動について理解し、説明できる。				
学習方法	教科書、配布プリントによる講義が中心である。必要に応じて課題解決のためのグループディスカッションを行う。毎時の学習内容の定着を評価するために、クラスメートとディスカッションをしながら「振り返りプリント」を完成させる。				
成績評価の方法	定期試験の結果を中心に、毎回の授業の参加状況を考慮して評価する。 定期試験90%、振り返りプリント10%				
教科書	全国歯科衛生士教育協議会(監) 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1「保健生態学」 医歯薬出版				
履修上の注意	近年、歯科衛生士の活躍の場は診療所や病院だけでなく、地域社会や国際社会においても広く期待されている。多方面で活躍できる歯科衛生士をめざして、本科目を通して個人および集団の健康を守るために必要な概念、知識、理解力を身につけてほしい。				
参考書	『公衆衛生がみえる2024-2025』(株)メディックメディア				
実務経験のある教員 (概要、科目との関連性)					

授業計画

No.	授業項目	到達目標 (SBOs)
1	導入: 公衆衛生学の概念	公衆衛生学の歴史を理解できる。地域住民を対象とした健康づくりの理念を説明できる。
2	地域保健と公衆衛生: 地域保健の概念、組織、地域保健活動の進め方(1)	地域保健の概念を概説できる。健康増進法、健康日本21(第二次)について説明できる。地域活動、他職種との連携の大切さについて説明できる。
3	地域保健と公衆衛生: 地域保健の概念、組織、地域保健活動の進め方(2)	地域保健の概念を概説できる。地域保健活動の展開手法、他職種との連携の大切さについて説明できる。
4	地域保健と公衆衛生: 母子保健の概要	我が国の母子保健の概略を説明できる。母子健康手帳、健診等、我が国の母子保健サービスについて説明できる。
5	地域保健と公衆衛生: 学校保健の概要	学校保健で大切なことを説明できる。学校保健から明らかにできることや現在の問題点を列挙できる。特に学校での健診について説明できる。
6	地域保健と公衆衛生: 成人・老人保健の概要	生活習慣病の問題点および対策について説明できる。高齢者を取り巻く地域保健対策、介護を必要とする高齢者に対する地域の取り組みを概説できる。
7	地域保健と公衆衛生: 精神保健、災害時の保険医療活動	精神保健の重要性、我が国の状況を概説できる。被災地での公衆衛生の大切さ、歯科保健活動について説明できる。
8	地域保健と公衆衛生: 国際保健	国や地域により健康水準、口腔保健の状況が異なることを概説できる。WHOの活動、JICAによる二国間支援など途上国に対する活動を説明できる。